

市民と議会をつなぐ意見交換会を開催しました

今年で3回目となった議会報告会は、9月3日、芸術文化センターポロで開催し、118名に参加を頂きました。

昨年は地域の課題にスポットをあて、テーマを決めて報告しましたが、今年はずべての常任委員会と特別委員会から、活動報告や今後の課題などについて、報告を行いました。

まだまだ、試行錯誤の段階ではありますが、市民の皆さんから「議会が身近に感じられるようになった」「市民の声が届きやすくなった」という声が頂けるように、引き続きアンケート内容なども参考にしながら、継続していきたいと考えています。

多くの市民の皆さんから頂いたご意見等は、議会が対応できるものは議会で、市政に関する意見・要望は担当部署へ伝えます。

詳細については、後日、議会ホームページに掲載します。

会場でいただいた意見・要望（抜粋）

問 新庁舎は南海トラフ地震や津波に対応できるのか。また、情報機器や機械設備など浸水への配慮は。

答 1階床は、最高潮位3・2メートルまでは浸からない設計である。

問 新庁舎の1坪当たりの単価はいくらかかるのか。1㎡当たり42万5千円で、他市と比較しても同等である。

問 船木小学校の跡地活用について問う。

答 グラウンドと体育館及び子育て支援については、暫定的ではあるが、現状での運営が決まっている。

問 校舎の活用について、跡地活用委員会地域から集めたアンケートの意見に基づき、協議している段階である。

問 本郷産業団地について、道路は高坂まで抜けるのか。

答 道路は県道三原本郷線となり、高坂まで抜ける。

問 新斎場の建設について問う。

答 平成30年8月完工予定である。直葬や初七日はできるよう検討している。

問 高坂地域では了解済みである。久井町の一部で反対があるので、理事者側が地域での説明会を実施している。

要望 インバウンドを活用した本市の活性化については、本市を拠点として、国内外の来訪者との体験交流や農水産物の売上などの経済効果が見込まれる。

そのためには、簡易宿泊施設が必要となるので、閉校後の校舎の利活用を要望する。公共施設の効率的な削減とメリハリの効いた活用策を要望する。

要望 町内会組織を見直すべき。また、市民の声や地域の状況を汲み取り、まちづくりについて、今一度考え直すべきではないか。



意見交換会の様子